

「歳末たすけあい・地域福祉募金」にご協力をお願いします

平成23年12月1日～12月31日

受付期間 11月1日～12月22日 <small>※土曜日午後・日祭日を 除く 9時～17時</small>	北区社会福祉協議会事務局 北区岸町1-6-17 ☎3906-2352
	桐ヶ丘デイホーム 北区桐ヶ丘1-6-2-101 ☎3908-1277
受付期間 12月1日～12月22日 <small>※9時～16時 水曜日定休</small>	滝野川東デイホーム 北区滝野川1-46-7 ☎5974-2540
	富士見橋エコー広場館 北区田端5-16-1 ☎3824-3196
	北ノ台エコー広場館 北区上十条5-14-4 ☎3907-3196
	滝野川西エコー広場館 北区滝野川6-21-25 ☎5567-3196
	赤羽エコー広場館 北区赤羽1-1-38 ☎3908-3196

■用途
 地域住民の参加による高齢者のミニデイ活動や、子育て支援活動など、幅広い地域福祉活動に役立てられます。そのほか昨年度は、一人暮らしの高齢者（民生委員の定期訪問対象）の方々に見舞品をお届けし、民間の保育園・福祉施設へ見舞金をお贈りしました。

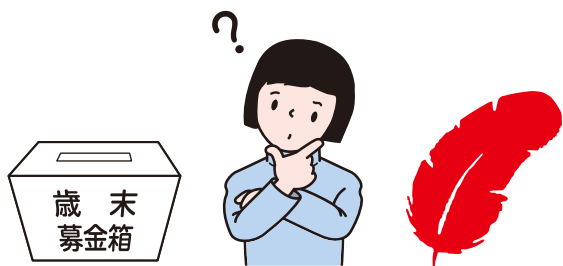
■募金方法
 ①各地域で封筒が配布されます。町会・自治会、赤十字奉仕団、民生委員児童委員等の皆さんが各家庭にお伺いいたします。（平成23年11月頃から始まります。）
 ②左記の窓口でも募金を受け付けます。
 ・北区社会福祉協議会事務局
 ・桐ヶ丘デイホーム、滝野川東デイホーム
 ・区内にある4つのエコー広場館（富士見橋、北ノ台、滝野川西、赤羽）

■目的
 区内の地域福祉活動を充実させるために必要な募金です。地域の福祉事業がますます活発になるように、身近な地域でできる募金活動にご協力よろしくお願ひいたします。

北区で「歳末たすけあい・地域福祉募金」の活動が行われるようになって、今年で57回目になります。この募金は、地域のなかで暮らしに困っている人のためだけでなく、高齢者・障がい者・子育てをしている人など多くの方々を対象とした「地域ささえあい活動支援事業」など、幅広い地域福祉活動のために配分されます。

赤い羽根共同募金と歳末たすけあい運動の募金はどう違うの？

どちらも東京都共同募金会が主唱者となって、各地の実施団体が地域の皆様のご協力のもとに、募金活動をおこなっている点は同じです。赤い羽根共同募金はおもに都内全域の民間の福祉団体・施設の事業に配分され、歳末たすけあい運動の募金は北区の地域福祉活動への支援などに使われています。



募金を集めてくださっている方の声



榎本 美智子さん
 北区赤十字奉仕団副委員長
 北区赤十字奉仕団志茂分団委員長

11月から「歳末たすけあい運動」の募金活動が行われます。今年で57回目となります。この募金は、地域の町会・自治会、赤十字奉仕団、民生委員児童委員などが協力して集めている募金です。地域の人が呼びかけ、地域の人から集めた募金が、北区の福祉施設の事業、また、高齢者や障がい者・子育てをしている方々を対象とした地域ささえあい活動支援事業などに配分されます。募金を集める作業は大変なことです。今年、三月十一日に東日本大震災という未曾有の災害に見舞われ多難の年となりましたが、これからも北区が、だれもが住みやすい地域であってほしいと思っております。どうか地域社会全体の福祉向上のために、歳末たすけあい募金のご協力をお願い申し上げます。

歳末たすけあい・地域福祉募金は紙おむつの支給事業にも使われています。

紙おむつをさしあげます

北区社会福祉協議会では、以下のいずれかの条件に当てはまる方に対し、紙おむつの支給を行っています。

▽対象

①介護保険で要支援1～要介護3までの方、②65歳以上で常時おむつが必要な方、③介護保険を申請して認定結果待ちの方

[支給期間] 3ヵ月間

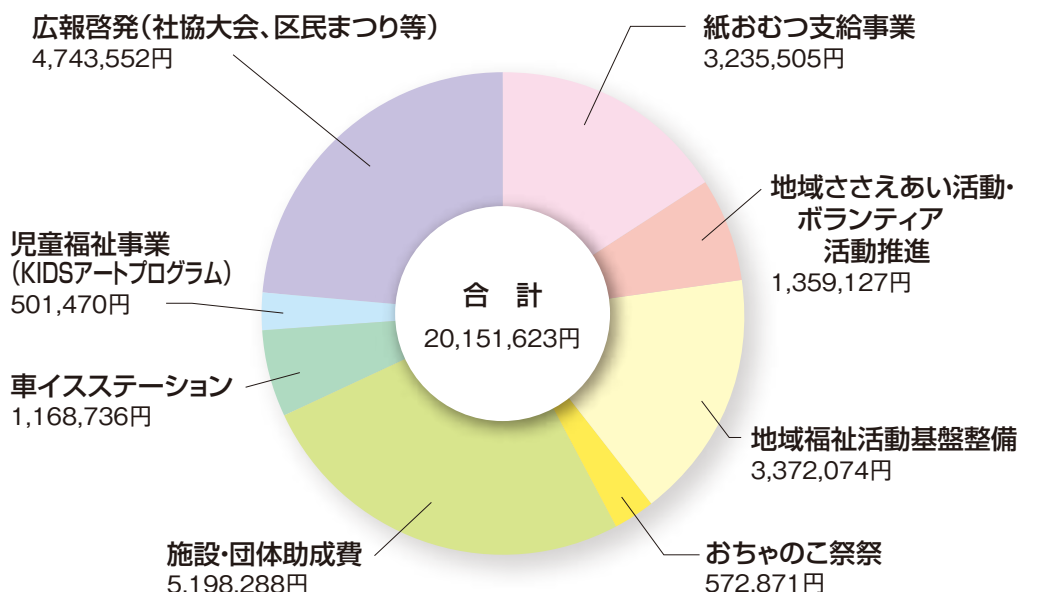
※お一人一回のみの支給となりますので、過去に北区社会福祉協議会から紙おむつの支給を受けた方は除きます。

▽申込

事前にお電話でご連絡のうえ、ご来所ください。
 ※事前のご連絡がない場合、申し込みいただけないことがありますのでご注意ください。
 ※お申込の際には、現在お使いの紙おむつのタイプ、サイズをご確認ください。
 ※詳細は問合せください。

北区社会福祉協議会 地域サービス係
 ☎03-3905-6653

☆平成22年度 地域福祉活動費の内訳☆



昨年度はご協力ありがとうございました。
 本年度も引き続きご協力をよろしくお願い申し上げます。

植物油インキとは、インキ中に含有する植物油、または植物油を原料としたエステルとの合計が、含有基準量以上のインキのことです。インキ乾燥時に発生するVOC(揮発性有機化合物)の発生を大幅に軽減でき、大気汚染や作業環境の保全にとってもやさしいインキとされています。詳しくはhttp://www.ink-jpima.org/ink_syokubutu.htmlをご覧ください。

紙面など記事に関する皆様のご意見・感想などございましたら、電話又はFAX・メールにてお聞かせください。☎03-3906-2352 FAX03-3905-4953 Eメール info@kitashakyo.or.jp